

旅行取扱状況の概観（平成29年6月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比117.9%と前年を上回ったが、一般団体は同95.5%と前年を下回り、団体旅行合計で同97.7%と前年を下回った。企画旅行については前年比116.5%と前年を上回り、個人旅行については同112.1%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比110.6%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比91.0%、一般団体は同91.5%と前年を下回り、団体旅行合計で同91.2%と前年を下回った。企画旅行については前年比103.5%と前年を上回り、個人旅行については同98.2%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比97.5%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比76.3%と前年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の6月の総取扱額は前年比100.7%となり、前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、学生団体は研修旅行やロングポジションの修学旅行などの取扱人数の増加より、前年比117.9%と前年を上回ったが、一般団体は前年の大型の見本市などの影響により、同95.5%と前年を下回った。

この結果、海外団体旅行合計で前年比97.7%と前年を下回った。

国内団体については、学生団体は宿泊研修などの取扱人数が増加したが、修学旅行などの取扱人数の減少により、前年比91.0%と前年を下回った。一般団体は大型の企業系コンベンションなどの取扱の減少により、同91.6%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比91.2%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年の国際会議や企業系の大型会議などの影響により、前年比69.6%と前年を下回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、四国、九州、沖縄、伊勢志摩方面などが前年を上回ったが、昨年の北海道新幹線の開業効果があった北海道や東北方面などが前年には及ばず、取扱額で前年比97.5%と前年を下回った。

ホリデイについては、方面別取扱人数の状況では、アジアやオセアニア方面が前年を下回ったが、その他の方面はほぼ前年を上回り、取扱額で同118.6%と前年を上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、ヨーロッパやアジア方面を中心に好調に推移した。バス旅行を除く国内旅行部門は、地震の影響から戻りきれていない九州方面や、昨年、新幹線開業効果があった北海道などが伸び悩んだが、東北、関西方面は好調に推移した。バス旅行部門は、関西発の上高地やアルペンルートや首都圏発の関東近郊、西日本宿泊商品などが好調に推移した。テーマ旅行部門は、海外では最上級クラス商品のロイヤル・グランステージ、国内ではカルチャーの「寺旅」、スポーツの「登山」などが好調に推移した。

この結果、総取扱額は前年比109.5%となり、前年を上回った。